

# 第 4 章

## ユニバーサルデザインの まちづくりの考え方



# 1 まちづくりの考え方とアクションプラン

ここでは、将来のまちの姿を実現する三つのまちづくりの考え方とアクションプランについて述べます。

(1)まちづくりの考え方1 やさしさ・やくそく

① めざす姿

## 互いの違いに気づき

## 思いやりの心を育む場や機会をつくります

ユニバーサルデザインのまちづくりは、区民一人ひとりが、互いの違いや個性等に気づき、理解し合うことから始まります。そこから、互いを思いやる気持ちが育まれ、一人ひとりの行動へとつながっていきます。これらが一体となって推進されるよう、学ぶ機会や互いを知るための区民交流、わかりやすい情報伝達等多様な面から、参加・参画の場や機会を整えていくことをめざします。

● ユニバーサルデザインによるまちのイメージ

みんなが思いやりの気持ちを持ってつながり合い、理解し合っている



## 誰もがユニバーサルデザインの意味を知っている



## みんなが立場を越えて協力し、ユニバーサルデザインが広まる



## 誰もが必要な情報、サービスを受けられる



② まちづくりの考え方1 「やさしさ・やくそく」に関するアクションプラン

1-1 ふれあいでわかり合える区民の交流促進

互いの立場の違いを越えて、ユニバーサルデザインの考え方が根つき、広く定着するよう、区民同士の活発な交流を図ります。

**概要** | 年齢、性別、国籍等を問わず、区民同士の交流の機会をつくり、これらの参加の機会を通じて、ユニバーサルデザインの定着を図ります。

施策	施策の概要・ねらい	取り組み事業例
ユニバーサルデザインを理解する機会づくり(講座等)	ユニバーサルデザインへの理解を深めるような講座や体験会を企画し、様々な交流を通じて、ユニバーサルデザインに触れる機会をつくります。 <b>(各主体の役割イメージ)</b> 地域の団体等、区は講座を企画・開催し、区民は講座に協力・参加します。	・多文化交流事業の実施
ユニバーサルデザインのイベント開催及び活動支援	ユニバーサルデザインの普及促進を図るため、誰もが参加できる世代間の交流や企業の取り組みのPR等、ユニバーサルデザインの考え方を盛り込んだイベントの開催や活動の支援等を行います。 <b>(各主体の役割イメージ)</b> 地域の団体等や事業者は、区の支援のもと、イベントを企画・開催し、区民は協力・参加します。	・商店街等のイベントの開催及び支援 ・世代間交流事業の促進

社会参加活動や自立支援の体制づくり

区民がユニバーサルデザインのまちづくり活動等に参加する機会や障がい者、高齢者等の自立を支援するような体制をつくります。

**(各主体の役割イメージ)**

地域の団体等は、区の支援体制のもと協議会等の運営を行い、事業者は支援し、区民は協力・参加します。

- ・地域自立支援協議会の推進
- ・(仮称)障がい者総合サポートセンターの設置
- ・(仮称)高齢者就労社会活動支援センターの設置

※取り組み事業例は、すでに区で取り組んでいるもの、これから取り組もうとしているものがあります。

※各主体の役割イメージは、第5章の「各主体に期待される役割」を基に記述しています。

**ユニバーサルデザインのまちづくりアイデア例**

- ・区のホームページ等で民間のユニバーサルデザイン取り組み事例を紹介
- ・様々な運動、活動を展開するボランティア人材バンクの整備
- ・ボランティア活動ポイント制の検討

**ユニバーサルデザインの取り組み事例**

(以下に挙げる取り組み事例は、現在区で取り組んでいるもの、または、他の自治体や団体等で取り組まれている事例を掲載しています。)

■ 大田国際交流週間

区では、「世界の音楽」コンサート・国際交流パーティー・多言語生活相談会・労働や学習等に関するセミナー等を催している。世界の料理・物産を体験できるミニフェスタや、各国の絵本を展示する子ども向けのプログラムも予定され、国際理解を深める一助となっている。

参考:大田国際交流週間実行委員会



■ ユニバーサルシンポジウム

ユニバーサルデザインの実践者によるパネルディスカッションの場。どのようにユニバーサルデザインを推進し、どのようにみんなが暮らしやすい社会にしていけるのか、パネラーが、ご自身の立場や体験から意見を交わす。

参考:郡山市(「平成22年度 ユニバーサルデザインシンポジウム」より)



## 1-2 楽しく学べるユニバーサルデザインの教育推進

子どもから大人までまちの中で困っている人に自然に声をかけられる豊かな心を育むとともに、「思いやり」や「気づき」の心を持ち、安心・安全な社会づくりに参加・参画し貢献できる人を育てます。

**概要** | 区や教育機関、民間事業者、NPO\*等が協力し、ユニバーサルデザインへの理解を広め、まちづくりに積極的に参加するとともに、社会貢献できる人材を育成します。

施策	施策の概要・ねらい	取り組み事業例
誰もが参加しやすいユニバーサルデザインの視点を取り入れた学ぶ場づくり	講座や学習支援についてユニバーサルデザインの視点で取り組みます。また、手話通訳等、誰もが学習の場に参加できるような配慮を行います。 <b>(各主体の役割イメージ)</b> 地域の団体等や区は講座を企画・開催し、区民は協力・参加します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>区民大学・地域講座</li> <li>家庭・地域教育力向上支援事業</li> <li>手話・点訳講習会</li> </ul>
多様なユニバーサルデザイン教育、研修等の機会づくり	学校教育・社員等の教育の中にユニバーサルデザインを学んだり、体験するようなくみをつくります。 <b>(各主体の役割イメージ)</b> 区や事業者はユニバーサルデザイン教育を企画・実施し、地域の団体等は支援をし、区民はユニバーサルデザインの教育や研修の機会に積極的に参加します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>小中学校での福祉教育の推進</li> <li>交通事業者のバリアフリー研修</li> </ul>

## ユニバーサルデザインのまちづくりアイデア例

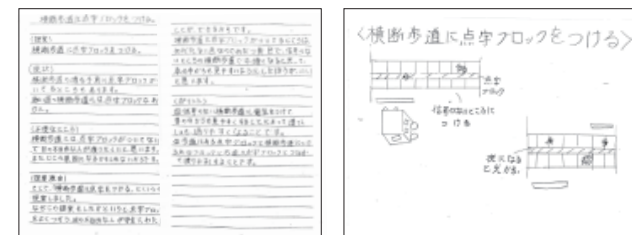
- 子どもの年齢に合わせたユニバーサルデザイン教育カリキュラムの策定
- 大人向けユニバーサルデザイン啓発・普及プログラムの推進

## ユニバーサルデザインの取り組み事例

(以下に挙げる取り組み事例は、現在区で取り組んでいるもの、または、他の自治体や団体等で取り組まれている事例を掲載しています。)

### 小学生によるユニバーサルデザイン提案書

平成22年度区内の小中学校で6年生に実施されたユニバーサルデザインの授業。ユニバーサルデザインについて学んだ小学生がユニバーサルデザイン提案書を作成した。どのようなものがあたらよいかをさまざまな視点から提案している。



### 交通事業者によるバリアフリー研修

バス・鉄道事業者による視覚障がい者誘導研修。単なるノウハウの習得ではなく、障がいへの理解、コミュニケーションの取り方、ニーズに対する気づきの感覚を磨く。

参考:交通エコロジー・モビリティ財団



### 小中学校での福祉教育の推進

区内の小中学校では、総合的な学習の時間に、心のバリアフリー推進等を含むユニバーサルデザイン教育を実施している。このプログラムでは、障がい者への理解から始まり、バリアの体験学習やまちの点検と段階的に学習を進めるようにカリキュラムの工夫をしている。

参考:大田区





### 1-3 区民・事業者・地域の団体等・区が 協働で取り組む普及・啓発

区民、事業者、地域の団体等、区の協働によりユニバーサルデザインの普及を図ります。

**概要** | 区民、事業者、地域の団体等、区がそれぞれの立場を越えてノウハウを出し合い、蓄積し、協働で進めるユニバーサルデザインの普及と促進のためのしくみをつくります。

施策	施策の概要・ねらい	取り組み事業例
施設のユニバーサルデザインの促進	ユニバーサルデザイン認定制度を設ける、まちの中の施設や建築物のユニバーサルデザインを促進します。区民活動や事業者のユニバーサルデザインのまちづくり活動を社会にアピールできるようなしくみをつくります。 <b>(各主体の役割イメージ)</b> 事業者や区は施設等の整備を行い、区民や地域の団体等は、施設のユニバーサルデザインについて意見や提案を行います。	・ 優良ユニバーサルデザイン施設の整備、認定
誰もが住みやすい住宅のユニバーサルデザインの促進	住宅のユニバーサルデザインを促進するために区民、事業者等の啓発活動を推進します。 <b>(各主体の役割イメージ)</b> 区民、事業者は住宅のユニバーサルデザインを推進し、地域の団体等や区は情報提供を行います。	・ おおた住まいづくりフェア ・ 住宅リフォーム助成

公共的空間におけるルールやマナーの普及・啓発活動の推進

路上駐輪や商品はみ出しの防止等、公共空間を正しく利用するための普及、啓発活動を推進します。

**(各主体の役割イメージ)**

地域の団体等や区は、普及・啓発活動を推進し、区民は積極的に協力し、事業者は活動に協力・支援します。

- ・ パンフレットや区報による啓発活動
- ・ 障がい者専用駐車場の利用ルール・マナーのPR

ユニバーサルデザイン地域活動の発信

地域の関係団体等や事業者のユニバーサルデザインのまちづくり活動を社会にアピールしていきます。

**(各主体の役割イメージ)**

区民、事業者、地域の団体等はユニバーサルデザインの活動を発信し、区は支援します。

- ・ 「エスカレーターは歩くと危険キャンペーン」の支援

障がい者等の就労支援

就職を希望し、就職する能力を持った障がい者等が働く機会が得られるよう、職業訓練等の就労支援や就職後の職場定着のための職場環境の整備等の支援を行います。

**(各主体の役割イメージ)**

事業者は就労機会の創出に努め、区は地域の団体等と連携し、就労支援を行います。

- ・ 多様な障がいに応じた就労支援事業の推進

## ユニバーサルデザインのまちづくりアイデア例

- ・ユニバーサルデザイン普及・啓発のためのルール・基準・情報提供システムの構築
- ・区民・事業者等様々なユニバーサルデザイン担い手育成ワークショップ
- ・ユニバーサルデザインを普及・促進するための区民と事業者の協働によるまちづくり会社の検討
- ・企業によるユニバーサルデザイン機器等の開発促進と開発補助

## ユニバーサルデザインの取り組み事例

(以下に挙げる取り組み事例は、現在区で取り組んでいるもの、または、他の自治体や団体等で取り組まれている事例を掲載しています。)

### ■ エスカレータは歩かないで二人乗りキャンペーン

エスカレータは2列で乗り、急ぐ人は階段を利用するよう呼びかけるキャンペーン。大田区内でも蒲田駅を始め、呼びかけ等の取り組みが進められている。

参考:ひとにやさしいまちづくりを進める大田区民の会



### ■ 区民と事業者協働による放置自転車解消対策

東京急行電鉄の多摩川駅では、放置自転車問題を地域と事業者が連携して上手に解消している。「美しい花を置けば、放置するという態度も改められるのでは」という意見をきっかけに、花壇を置き、現在では駅係員やスーパーの職員も一緒に花の手入れをしている。地域と事業者との間に構築された信頼関係が放置自転車のない、きれいな駅を育てている。

参考:大田区(「大田区協働ハンドブック」より)



### ■ 音声コードの活用

専用機器を音声コードの上にかぶせるように重ね合わせることで印刷物の内容を音読してくれる。広報誌や保険の約款、取扱説明書等の文書を音声コードを読み取ることで、目の不自由な方々や高齢者にも情報を伝えられる。

参考:音声コード読み取り専用機器取り扱い企業の公式サイト



## 1-4 情報の発信・提供

区や事業者等が発信する情報にユニバーサルデザインの考え方を取り入れ、わかりやすい情報の提供を行います。

**概要** | 情報誌、情報提供コーナー等において、情報のわかりやすさ、見やすさ等に十分に配慮した情報発信・提供を行います。

施策	施策の概要・ねらい	取り組み事業例
様々な工夫を凝らしたわかりやすい情報の提供	<p>ホームページやビデオ等を工夫するとともに、言語や色彩に配慮した冊子づくり等、誰にでもわかりやすい情報を提供していきます。</p> <p><b>(各主体の役割イメージ)</b> 区、事業者、地域の団体等はユニバーサルデザインに配慮した情報の提供を行い、区民や地域の団体等は情報提供方法等に対する意見や提案を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 言語や色彩に配慮したおおたバリアフリーガイド、おでかけまっぷの充実</li> <li>・ 使いやすい、わかりやすい、役に立つホームページの作成、更新</li> <li>・ ユニバーサルデザインのまちおおたの広報、PR</li> <li>・ 区政紹介冊子、ビデオの多言語化</li> </ul>
様々な伝達手段（IT、通訳、手話等）を活用した情報の提供	<p>誰にでも情報が理解できるように、IT機器や通訳、手話等の多様な伝達手段を活用して情報を提供します。</p> <p><b>(各主体の役割イメージ)</b> 事業者、区は情報伝達のための様々な手段を準備し、地域の団体等は伝達手段の準備に協力し、区民は自らに合った伝達手段を活用します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 区施設への通訳の派遣</li> <li>・ 手話通訳者・点訳者の養成</li> </ul>

日常生活に役立つ情報の提供

誰もが安心して日常生活が送れるよう、役に立つ情報の提供を行います。

**(各主体の役割イメージ)**

事業者、地域の団体等、区は必要な情報をわかりやすく提供し、区民は情報の提供に協力するとともに活用します。

- ・ 防災情報基盤の整備
- ・ 高齢者の住まいに関する情報提供

### ユニバーサルデザインのまちづくりアイデア例

- ・ 視覚や聴覚情報を気軽に利用できる環境整備
- ・ まちなかユニバーサルデザインマップ
- ・ ITを活用した情報機器を整備したまちなかユニバーサルデザインインフォメーションセンター
- ・ 大田区ユニバーサルデザインを表すUDマークの作成
- ・ 多言語に対応した案内の設置や職員育成

### ユニバーサルデザインの取り組み事例

(以下に挙げる取り組み事例は、現在区で取り組んでいるもの、または、他の自治体や団体等で取り組まれている事例を掲載しています。)

#### ■ まちに出ようおでかけアシストブック

区内のバリアフリーマップ。駅の出入り口から改札口までの車いすで通行できるルートや、トイレの位置・設備の状況を写真付きで紹介している。マップには、区有施設をはじめ、区内の駅やショッピング施設、劇場、美術館等でのエレベーターや駐車場、車いすトイレ、授乳室等の有無を紹介している。

参考:大田区

#### ■ シティーニュースおおた

生活に役立つ情報として、大田区では、「シティーニュースおおた」を放映している。これは、区内のケーブルテレビで放映している大田区の広報番組(毎月2本製作)であり、区民のくらしと区政のかかわり、区内のテーマスポット等を案内しながら、身近な大田区を紹介している。空港臨海部グランドビジョン2030等の各計画も映像と音声で紹介されている。

参考:大田区

#### ■ 大田区ホームページの工夫

多言語に切り替えられる。また、音声読み上げや文字拡大の機能も搭載されている。

参考:大田区



(2)まちづくりの考え方2 まち・暮らし

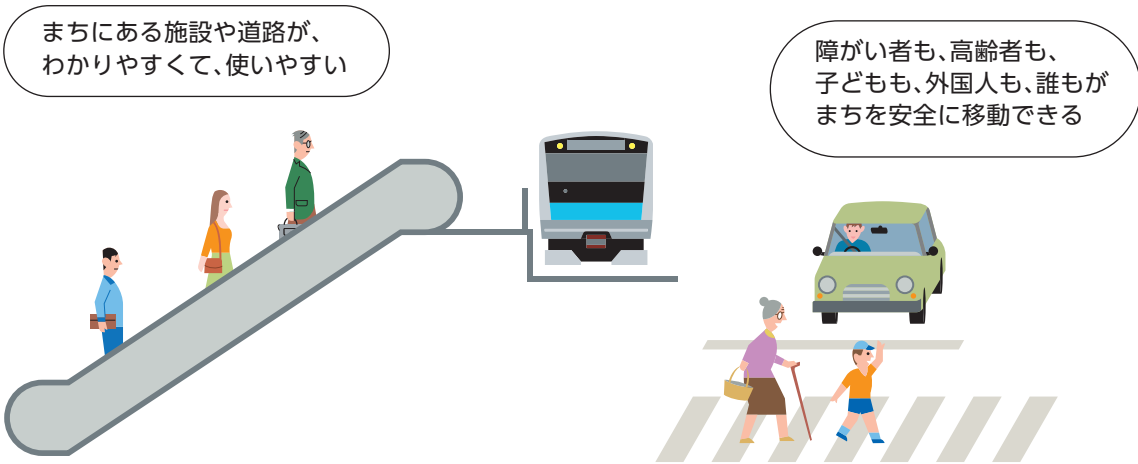
① めざす姿

### だれもが安心して簡単に移動・利用できる 快適なまちをつくります

誰もができるだけハードルを感じることなく、安心して簡単・安全にまちを移動・利用できる環境を整えます。公共的施設や、移動経路、屋外・屋内環境、案内看板・サイン等のハード面の整備からユニバーサルデザインのまちづくりを進めていきます。

● ユニバーサルデザインによるまちのイメージ

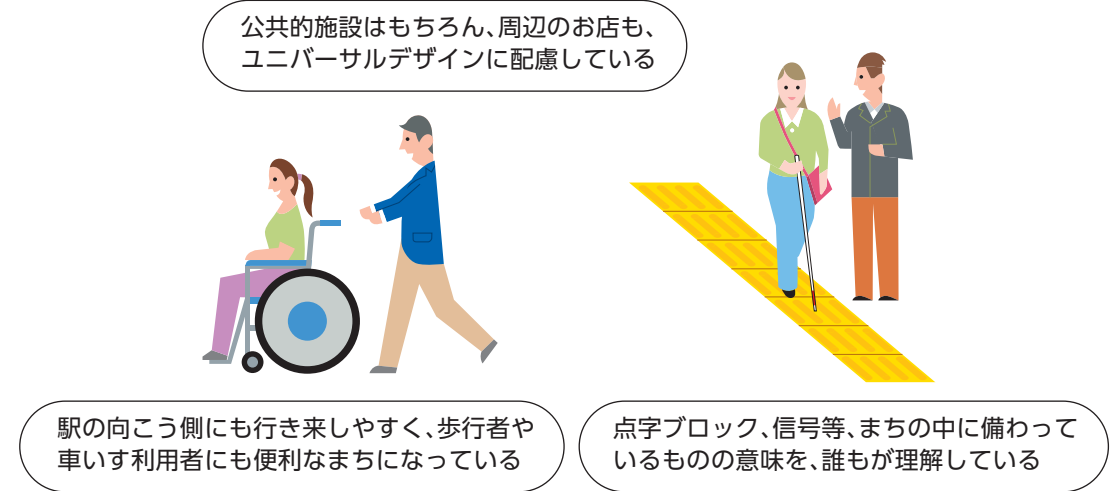
#### 誰にとっても安心・安全な使いやすい公共的空間が整備されている



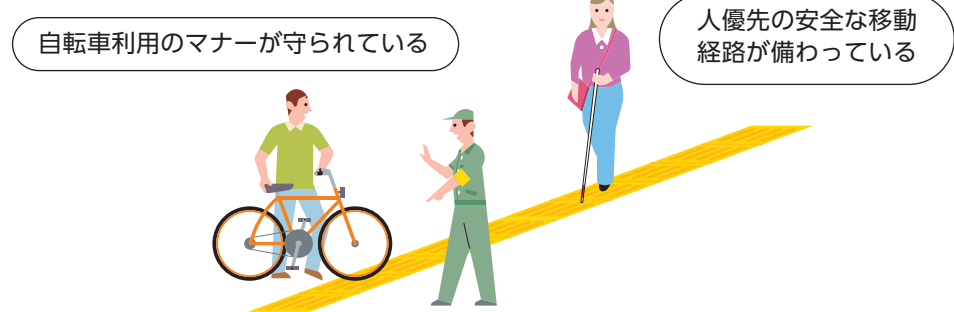
#### 人優先で気持ちよく利用できるまち環境が保たれている



#### 誰もが安心して移動・利用できるしくみがきちんと用意されている



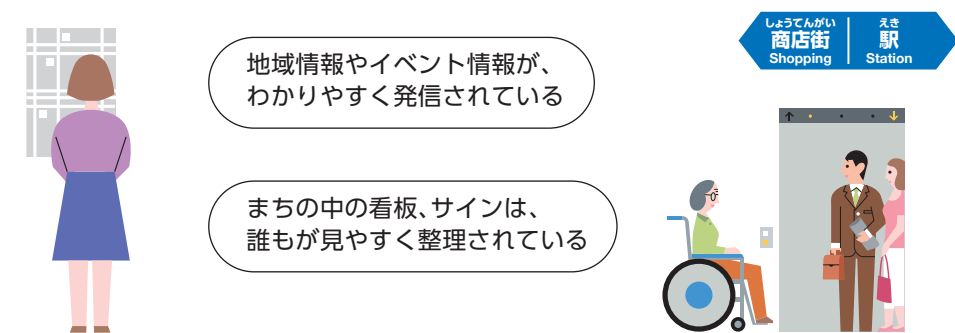
#### 誰もが使いやすい自転車の利用環境が整備されている



#### 誰に対しても親切に対応できている



#### 誰にとってもわかりやすいまちの情報・サインが整っている





## 2-1 安全で楽しいみち・場所づくり

安全に楽しく歩くことができ、憩いの場がある、人にやさしい歩行者環境をつくります。

**概要** | 高齢者から子どもまで、また障がいの有無を問わず、まちの中を楽しく安全に行き交うことができる道や、憩いの場・ミニイベントスペース等を創出します。安全で楽しい空間づくりに支障となるバリアの解消を進めます。

施策	施策の概要・ねらい	取り組み事業例
ユニバーサルデザインの視点による道路の整備や維持補修	<p>区民と区が協働でユニバーサルデザインの視点から点検・評価を行い、誰もが移動しやすい道路の整備や補修を行います。</p> <p><b>(各主体の役割イメージ)</b></p> <p>地域の団体等や区は協働して合同点検を推進し、区民や事業者は、点検へ参加、協力(支援等)します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路の維持補修</li> <li>段差急勾配の解消</li> <li>誘導ブロック敷設方法の検討</li> <li>歩道の凸凹の解消</li> </ul>
公共的空間におけるユニバーサルデザインの推進	<p>歩行者空間の狭い歩道等を安全に利用できる工夫、歩行者の邪魔になる障害物の除去等、安全で利用しやすい道路・歩行者空間の整備を図ります。</p> <p><b>(各主体の役割イメージ)</b></p> <p>区、事業者は公共的空間におけるユニバーサルデザインを推進し、区民や地域の団体等は点検や検証活動で協力し意見や提案を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電線類地中化</li> <li>踏切道改良事業</li> </ul>

### ユニバーサルデザインのまちづくりアイデア例

- ・マウンドアップ型歩道\*からセミフラット型歩道\*への移行
- ・路上障害物の除去活動
- ・狭あい道路の解消による安全確保
- ・通行規制(一方通行、時間規制、車種規制等)
- ・情報提供システムの構築の検討

### ユニバーサルデザインの取り組み事例

(以下に挙げる取り組み事例は、現在区で取り組んでいるもの、または、他の自治体や団体等で取り組まれている事例を掲載しています。)

#### ■ セミフラット型歩道

歩道は平らになっており、歩道と道路の間はコンクリートブロックにより区別されている。  
参考:東京都コンクリート製品協働組合



#### ■ 歩車道のゼロ段差

視覚障がい者、車いす利用者、高齢者、ベビーカー利用者が歩きやすいよう、歩道と車道の段差をなくす工夫をし、スムーズな移動を可能にしている。  
参考:大田区



## 2-2 ユニバーサルデザインの公共的施設づくり

区全体にユニバーサルデザインを普及・促進するために、公共的施設について積極的にユニバーサルデザインの導入を進めます。

**概要** | 区の施設について、ユニバーサルデザインによる整備、改築、改造等を実施し、すべての人にとって使いやすい公共的施設に整えるとともに、使用上のルールづくり等もあわせて進めます。

施策	施策の概要・ねらい	取り組み事業例
公共的施設におけるユニバーサルデザインの積極的導入	<p>公共施設整備計画等に基づき、施設のユニバーサルデザインを進めます。また、東京都の福祉のまちづくり条例や区の歩行者空間整備マニュアル等の基準に沿って、安全で快適な公共施設の整備を推進します。また、事業者等に施設のユニバーサルデザイン導入について働きかけます。</p> <p><b>(各主体の役割イメージ)</b> 区や事業者は、公共的施設のユニバーサルデザインを推進し、区民、事業者、地域の団体等は、点検や検証で協力し、意見や提案を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大田区公共施設整備計画の推進</li> <li>・呑川緑道の整備</li> <li>・桜のプロムナードの整備</li> <li>・海辺の散歩路整備</li> <li>・福祉避難所の体制整備</li> </ul>
ユニバーサルデザインの視点に立った公共的施設の活用、利用促進	<p>安全面、衛生面の管理が不十分なトイレや公園等については、子どもから大人まで、誰もが安心して使えるように施設の改善を図ります。また、使用マナーに問題がある施設等について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使いやすく管理の行き届いた公園づくり</li> <li>・公共施設での補助器具(つえ等)置き場の確保</li> <li>・だれでもトイレ*の整備</li> </ul>

は、使い方のルールを区民とともに検討し、誰もが使える既存施設の有効活用、利用促進を図るしくみをつくります。事業者等の施設についても、有効利用等について働きかけます。

### (各主体の役割イメージ)

区、事業者は、公共的施設の有効活用、利用促進を図り、区民、地域の団体等は、ワークショップ等を通して意見や提案をし、正しい施設利用を実践します。

### ユニバーサルデザインのまちづくりアイデア例

- ・公共施設のユニバーサルデザインモデル化
- ・災害時に使えるトイレの整備
- ・車いすやベビーカーに配慮した大型エレベーターや、エスカレーターの設定
- ・ユニバーサルデザインを取り入れた施設でのマナー案内

### ユニバーサルデザインの取り組み事例

(以下に挙げる取り組み事例は、現在区で取り組んでいるもの、または、他の自治体や団体等で取り組まれている事例を掲載しています。)

#### ■ だれでもトイレ

高齢者、車いす利用者、子ども連れの人等、できるだけ多くの人が利用できるように設計されたトイレ。

参考:大田区



だれでもトイレ

#### ■ 桜のプロムナードの整備

区が推進している「桜のプロムナード」計画では、歩行者のバリアフリーと桜の良好な育成環境の確保を両立させた人と桜にやさしい道路空間の創造をうたっている。さらに、賑わいを創出する場や日常的に桜の緑陰空間に区民がたたずむ場の創出もあわせて進めている。

参考:大田区



桜のプロムナードの整備

#### ■ 取り出し位置に配慮した自動販売機

区役所内等に設置されている自動販売機。硬貨を一度に複数投入できる一括投入口や小さい力で容易に操作ができる大型のコイン返却レバー等が設計されている。また、最上段のボタンや取り出し位置が手の高さにあるのでかんだりせず、楽な姿勢で商品を取り出せる。

参考:大田区



取り出し位置に配慮した自動販売機

## 2-3 円滑に移動できる施設・設備としくみづくり

まちの中や施設内を安全・スムーズに移動できるよう施設の整備や利用のマナー啓発等を進めます。

**概要** | まちの中をスムーズに移動できるよう多くの人が利用するエレベーター、エスカレーター等の移動施設等の整備や自動車等の利用マナーの啓発等を進めます。

施策	施策の概要・ねらい	取り組み事業例
誰もが利用しやすい移動施設等の整備・充実	駅舎でのエレベーター、エスカレーターの設置及びそこへの誘導等、関連事業者等との連携を図りながら、誰もが利用しやすくわかりやすい移動施設等の整備・充実に努めます。 <b>(各主体の役割イメージ)</b> 事業者は、区の支援のもと、移動施設等の整備・充実に図り、区民、地域の団体等は、移動施設等への意見や提案を行い、正しい施設利用を実践します。	・ 鉄道駅舎のバリアフリー化

### ユニバーサルデザインのまちづくりアイデア例

- ・ 交通事業者との協働による総合的ユニバーサルデザインの検討
- ・ 利用者のニーズにあったタウンモビリティ\*の導入
- ・ 店舗入り口に総合案内板(点字表示・音声案内による介助要請のためのインターフォン併設等)の設置
- ・ 民間施設の建築主等に対する関係法令等の基準適合要請

### ユニバーサルデザインの取り組み事例

(以下に挙げる取り組み事例は、現在区で取り組んでいるもの、または、他の自治体や団体等で取り組まれている事例を掲載しています。)

#### ■ 鉄道駅構内の設備

車いす利用者、ベビーカー利用者などが利用できるエレベーターの導入や、エレベーター、エスカレーター、階段など複数移動経路が用意され、スムーズな移動ができる。

参考:大田区内の鉄道駅



#### ■ バス車両のノンステップ化

車いす利用者やベビーカー利用者も乗降しやすいように、バスの車高を低くして段差の解消を図っている。

参考:大田区





## 2-4 自転車と歩行者が共存するまちづくり

自転車と歩行者の共存をめざし、互いが安全で快適なまちになるよう、施設やしきみをつくりまします。

**概要** | 環境にやさしい自転車の利用や歩行者との共存をめざしたまちづくりを進めるため、自転車と歩行者が共存するための守るべきルール遵守や施設整備を推進します。

施策	施策の概要・ねらい	取り組み事業例
自転車と歩行者が共存するための環境整備	<p>区民の足としての自転車利用を円滑に推進するため、駐輪場の整備を行います。</p> <p><b>(各主体の役割イメージ)</b></p> <p>区は、事業者の協力のもと、駐輪場の整備を推進し、地域の団体等は自転車利用者へのPR等を行い、区民は正しい利用を実践します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自転車等駐車場の整備</li> <li>・ 自転車講習会の実施</li> </ul>

### ユニバーサルデザインのまちづくりアイデア例

- ・ 大田区自転車等利用総合基本計画等の推進
- ・ サイクルシェアリング\*の導入
- ・ 商店街や駅前等、人の往来の多い箇所への自動車・自転車等の乗り入れ規制や通行規制
- ・ 自転車利用についての心得づくり(マナー集)
- ・ 自転車走行レーンの整備

### ユニバーサルデザインの取り組み事例

(以下に挙げる取り組み事例は、現在区で取り組んでいるもの、または、他の自治体や団体等で取り組まれている事例を掲載しています。)

#### ■ 自転車レーン

歩道上で近年多発している接触事故等を背景に、道路両側へ自転車レーンを設け、歩道での歩行者の安全性を確保している。自転車レーンは車道に設け、車道通行を危険と感じる自転車利用者は歩道を徐行して走行する。

参考:宇都宮市



#### ■ サイクルシェアリング

自転車の貸し出し拠点を複数設け、市民らが共同利用する制度。違法駐輪の減少と自転車総量の減少が期待できる。北九州市では、10カ所に上り坂に強い電動自転車計116台を置き、24時間利用できる。(月525円の基本料金+1時間ごとに105円の追加料金)

参考:北九州市



#### ■ アート自転車

自転車にステッカーを貼り、オリジナル自転車を製作する。世界で一つだけの自分の自転車を作ることによって、放置したくないようにして、放置自転車を抑制する。まちを走る自転車もまちの風景の一つにする。

参考:いりあらいキッズフェスティバル





## 2-5 楽しい商店街・魅力ある買い物空間づくり

日常の暮らしの中で、商店街が区民に親しまれるように、楽しく、買い物しやすい、また買い物がしたくなる商業空間づくりを行います。

**概要** | 区民が楽しく安心して買い物ができるよう、商店街環境の整備のほか、障がい者や高齢者等に対応したサービスの提供や、外国人も気軽に利用できるような商店街づくりを推進します。

施策	施策の概要・ねらい	取り組み事業例
誰もが利用しやすい安全で快適な商店街づくり	<p>障がい者や高齢者、外国人等も、楽しく安心して買い物ができるよう、おもてなしのところに満ちた安全で快適な商店街づくりに向けた支援を行います。</p> <p><b>(各主体の役割イメージ)</b> 事業者は、区の支援を得ながら、利用しやすい商店街づくりを推進し、地域の団体等は、商店街への提案、区民は困っている人への声かけ等を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 空き店舗等を活用したお休み処の提供</li> <li>・ 商店街のイベント開催</li> </ul>
誰もが楽しく歩けるまちづくり	<p>気軽に休める場所やベンチ等を整備し、楽しく安全に歩けるまちづくりを促進します。</p> <p><b>(各主体の役割イメージ)</b> 事業者は、区の支援のもと、安全で快適な買い物空間を整備・充実し、区民や地域の団体等は、商店街への意見や提案を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ メッセージベンチ整備事業</li> </ul>

### ユニバーサルデザインのまちづくりアイデア例

- ・ ユニバーサルデザインの商店街・店舗デザインマニュアルの作成
- ・ 「おもてなし」マニュアルの作成
- ・ 手ぶらで安心して商店街を楽しんでもらうための宅配サービスの導入
- ・ 商店街共通買い物カートによる利用しやすい商店街づくり
- ・ 困っている人への声かけ運動

### ユニバーサルデザインの取り組み事例

(以下に挙げる取り組み事例は、現在区で取り組んでいるもの、または、他の自治体や団体等で取り組まれている事例を掲載しています。)

#### ■ 街のコンシェルジュ

品川区中延商店街を中心に、日常生活で不便を感じている方々を、中高年の有償ボランティアが支援する仕組み。家事支援や軽修理(電球・パッキン等の取替)、話し相手、送迎サービス等を有償で提供。その対価は、中延商店街の商品券に交換できる。

そして中高年の交流を促進するため出合いの場“街中サロン”を設け、「食」「健康」「趣味」「パソコン」等をテーマとした「楽習教室」も開催している。

参考:品川区(「大田区協働ハンドブック」より)



#### ■ 商店街のイベント開催

「ミルパ」の愛称で親しまれている大森銀座商店街。毎年10月の第3日曜日には「森っこフェスティバル」を開催し、活気にあふれている。

また同日開催されている地元まちづくり協議会が主催している「いりあらいキッズフェスティバル」では、子どもたちが自ら体験するイベントが多数催されている。平成21年のフェスティバルで子どもたちが描いた“将来のまち”の絵はLuz 大森の仮囲いに展示した。

参考:大田区



## 2-6 まちなかをわかりやすくする案内・サインの充実

区民や区外の人がまちを訪れたときにもスムーズに行動できる、わかりやすいサインや案内情報を整えます。

**概要** | まちを訪れる人々にとって、安全で快適に行動できるようまちの中や建物内のサインの見直しや統一を行い、外国語の表示等にも工夫を凝らしたわかりやすいサイン、看板等の案内情報の提供を行います。

施策	施策の概要・ねらい	取り組み事業例
誰にもわかるまちなか情報の提供	<p>障がい者や高齢者、外国人等、誰にとっても、わかりやすく統一性のあるサインや案内板等によるまちの中の情報提供を行います。</p> <p><b>(各主体の役割イメージ)</b></p> <p>事業者はサイン設置場所の提供等で協力し、区はわかりやすいサインを設置し、区民や地域の団体等は設置場所等について意見や提案を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設のサイン整備ガイドラインの推進</li> </ul>

## ユニバーサルデザインのまちづくりアイデア例

- ・サインの多言語化及びふりがな併記
- ・サイン統一基準の策定

### ユニバーサルデザインの取り組み事例

(以下に挙げる取り組み事例は、現在区で取り組んでいるもの、または、他の自治体や団体等で取り組まれている事例を掲載しています。)

#### ■ サインの多言語化

主要な駅前には、地域を案内するマップが設置されている。外国人の地域観光も想定して、地図には日本語の他に英語、中国語、韓国語で表記されている。

参考:大田区



#### ■ 統一基準に従ったわかりやすいピクトグラム\*

区内の公共施設等の案内は「大田区サイン整備計画」に基づき、ピクトグラムを採用している。国際化にも対応した表記を使用しており、誰に対しても壁をつくることなく施設利用の促進を図っている。

参考:大田区



(3)まちづくりの考え方3 しゅくみ

① めざす姿

みんなの声を活かし

継続的にまちを見守り育てるしゅくみをつくります

ユニバーサルデザインのまちづくりを推進するため、区民や事業者、関係団体等様々な立場の人が気軽に参加し、みんなの意見が反映できるしゅくみやまちづくりの体制を整えていきます。みんながユニバーサルデザインの事業計画づくりやその実施・評価に参加する等、まちづくりに継続的に繰り返して取り組むことで、より豊かなユニバーサルデザインのまちに育っていくことをめざします。

●ユニバーサルデザインによるまちのイメージ

みんなで継続的に取り組むしゅくみがある



みんなで点検・評価してよりよいまちにしている



区が先導役としてユニバーサルデザインに取り組んでいる





② まちづくりの考え方3 「しくみ」に関するアクションプラン

### 3-1 地域力を活かしたユニバーサルデザイン推進体制づくり

ユニバーサルデザイン推進のための体制を整えます。

**概要** | ユニバーサルデザインのまちづくりを推進していくため、組織体制を整え、事業の調整やスパイラルアップ\*によるまちづくりの評価等を行います。

施策	施策の概要・ねらい	取り組み事業例
ユニバーサルデザインのまちづくりを推進する協働の体制づくり	<p>区民、事業者、地域の団体等と区が協働して、ユニバーサルデザインのまちづくりを推進し、評価、調整するための組織づくりを行います。</p> <p><b>(各主体の役割イメージ)</b> 区は、区民、地域の団体等、事業者の参画による(仮称)UD区民検討会を設置し、運営します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(仮称)UD区民検討会の設置</li> </ul>
ユニバーサルデザインのスパイラルアップのしくみづくり	<p>ユニバーサルデザインのまちづくりの計画・実施・評価を行うためのスパイラルアップのしくみをつくります。</p> <p><b>(各主体の役割イメージ)</b> 区は、区民、地域の団体、事業者等の参加・参画を得ながら、スパイラルアップのしくみづくりを推進します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区民と区が協働で取り組む合同点検の実施</li> </ul>

(仮称)UDサポーター\*等のまちづくり点検のしくみづくり

区民と区が協働でまちづくり点検を推進する、区民参加の登録制度をつくります。

**(各主体の役割イメージ)**

区民は、区の創設するUDサポーターに参加し、積極的に活動します。地域の団体等は、(仮称)UDサポーターへの意見、提案を行い、事業者は活動に協力、支援します。

- ・(仮称)UDサポーター登録制度

多くの人が集まる拠点(場所・施設)のユニバーサルデザインの推進

蒲田駅周辺や大森駅周辺等、多くの人が集まる拠点では、ランドデザイン等との整合を図り、区民や事業者との連携のもとに、ユニバーサルデザインのまちづくりを推進します。

**(各主体の役割イメージ)**

事業者と区は、連携して拠点のユニバーサルデザインを進めます。区民や地域の団体等は、ユニバーサルデザインのまちづくりへ協力し、点検や検証活動を通して、意見・提案を行います。

- ・蒲田駅周辺、大森駅周辺のまちづくり
- ・(仮称)大田区移動等円滑化推進方針及び(仮称)大田区移動等円滑化推進計画の策定



まちづくりモデル事業によるユニバーサルデザインの推進

ユニバーサルデザインのまちづくりモデル事業を実施し、その効果を広く波及させていきます。

#### (各主体の役割イメージ)

区は、事業者の協力のもと、まちづくりモデル事業を推進します。区民や地域の団体等は、計画事業について点検等を実施し意見や提案を行います。

- ・ユニバーサルデザインモデル事業

#### ユニバーサルデザインのまちづくりアイデア例

- ・ユニバーサルデザインのまちづくり憲章の制定
- ・ユニバーサルデザインを推進するための条例の制定
- ・ユニバーサルデザイン普及のためのルール・基準、情報提供システムの構築(再掲)
- ・普及プログラムやワークショップによるユニバーサルデザインのまちづくりの担い手育成塾の設置
- ・様々な運動、活動を展開するボランティア人材バンクの整備(再掲)
- ・ボランティア活動ポイント制の検討(再掲)

#### ユニバーサルデザインの取り組み事例

(以下に挙げる取り組み事例は、現在区で取り組んでいるもの、または、他の自治体や団体等で取り組まれている事例を掲載しています。)

##### ■ 空港臨海部グランドビジョン2030

本グランドビジョンは、2030年(平成42年)の羽田空港とその周辺の地域におけるめざすべき将来像の実現に向け、多くの人々が利用することに対応した地域整備の考え方をまとめ、国際化へのさらなる対応を図ることをめざしている。羽田空港の国際化を背景に、空港臨海部は今後区の玄関口として、多様な人が交流する拠点としての役割を担うことが想定される。

参考:大田区



##### ■ ユニバーサルデザイン合同点検

市民と市が協働で役所内をユニバーサルデザインの観点から点検する。盲導犬と階段を下りたり、車いす使用者用記載台を体験したり、白杖で点字ブロックを確認したりする。

参考:徳島市



### 3-2 区民参加による地域力を活かす組織づくり

ユニバーサルデザインのまちづくりにおいて、地域力を活かすため、地域から提案し、実践するための(仮称)UDサポーターを組織します。

**概要** | (仮称)UDサポーターが中心となり、まちづくり点検を実施します。点検にあたっては、各分野の専門家のアドバイスを得て、地域、テーマ等に分けて実施します。点検は、事業者、地域の団体等の協力と支援を得て行います。

施策	施策の概要・ねらい	取り組み事業例
(仮称)UDサポーター等区民と協働のユニバーサルデザインのまちづくり点検の実施	<p>区民参加により、区民の理解を深め、ユニバーサルデザインのまちづくりをともに進めていくため、(仮称)UDサポーターを中心に区民と区が協働でまちづくり点検等を実施します。</p> <p><b>(各主体の役割イメージ)</b></p> <p>区は、地域の団体等、事業者の協力のもと、合同点検を実施し、区民は積極的に参加します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユニバーサルデザイン合同点検(道路、公園、公共建築物、事業所等)</li> </ul>

### ユニバーサルデザインのまちづくりアイデア例

- ・ユニバーサルデザイン普及のためのUDマークの活用やポスターの作成
- ・ユニバーサルデザイン環境整備事業者やその施設への視察
- ・ユニバーサルデザイン点検結果の広報
- ・(仮称)UDサポーターへの研修

### ユニバーサルデザインの取り組み事例

(以下に挙げる取り組み事例は、現在区で取り組んでいるもの、または、他の自治体や団体等で取り組まれている事例を掲載しています。)

#### ■ 様々な立場の人が協働して行う点検

ひとにやさしいまちづくりを進める大田区民の会では、区内四つの地域庁舎管内で、年1回ずつバリアフリー合同点検を行っている。区内の公共空間について、会員や区職員、呼びかけに応じた人たちと協働してバリアを点検し、改善策を提言する。その他、各鉄道の駅についても区と協力しながら実施している。

参考:大田区(「大田区協働ハンドブック」より)



#### ■ ユニバーサルデザイン点検の報告・広報

ユニバーサルデザイン点検の結果を報告し合い、広報誌によって市民に公開する。

参考:徳島市



### 3-3 行政サービスのユニバーサルデザイン

まずは区から、ユニバーサルデザインの推進に取り組み、まち全体への波及効果を生み出すしくみをつくりまします。

**概要** | 区の多様な行政サービスについて、ユニバーサルデザインの考え方を取り入れまします。必要なサービスを一度の手続きで受けられる等窓口体制の充実を図りまします。

施策	施策の概要・ねらい	取り組み事業例
簡素でわかりやすい行政サービスの提供	<p>区のあらゆる行政サービスのユニバーサルデザインを推進するとともに、窓口体制の充実に努めまします。</p> <p><b>(各主体の役割イメージ)</b></p> <p>区は、区民、事業者、地域の団体等から点検、検証、評価への参加の協力を得ながら、行政サービスの向上に努めまします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大田区窓口サービス改善計画</li> </ul>
ユニバーサルデザインに関する研修、体験の実施	<p>区職員のユニバーサルデザインに関する研修や体験を実施し、職員のユニバーサルデザインに対する理解を深めることにより、行政サービスの一層の充実を図りまします。</p> <p><b>(各主体の役割イメージ)</b></p> <p>区は、区民、地域の団体等、事業者から講師の派遣等の協力を得ながら、ユニバーサルデザイン研修を実施まします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現場体験研修「福祉・ユニバーサルデザイン体験」</li> </ul>

### ユニバーサルデザインのまちづくりアイデア例

- ユニバーサルデザイン情報提供システムの構築
- 最新の機器を活用した多様なコミュニケーション手段の整備

### ユニバーサルデザインの取り組み事例

(以下に挙げる取り組み事例は、現在区で取り組んでいるもの、または、他の自治体や団体等で取り組まれている事例を掲載してまします。)

#### ■ 大田区多文化共生推進センター (micsおおた)

大田区在住の外国籍等の方が気軽に相談・交流できる場として消費者生活センター内に開設してまします。micsとはMultilingual Information and Collaboration Squareの頭文字をとった造語。外国人に対する情報発信のほか、行政情報の翻訳や区施設への通訳派遣、日本語教室等の開催等が行われてまします。

参考: 大田区



#### ■ 公用封筒

だれもが認識しやすいように、文字を大きく太くし、県章部分は浮き出し処理してましますので触ってわかる。また、税金、公金等に関する重要文書は視覚に障がいのある人が触れてわかるように裏面ののりしろを波型に加工してまします。

参考: 静岡県



#### ■ 音声案内システム

主な動線の床には周辺の床材と異なる素材を貼り、わかりやすい誘導してまします。また、建物周辺から内部にかけて、視覚に障がいがある人のために「音声案内システム」がある。白杖を自動的に認識し、音声案内による誘導を促す。専用端末も利用できる。

参考: 千代田区

